新市場を切り開く

歴史的な円高の定着、大手製造業の海外移転の加速など中小製造業を取り巻く環境は厳しさを増している。東京都大田区、品川区を中心に日本有数の中小企業の集積地である城南地域では、海外に活路を求める企業の動きが活発になっている。資金や人材の不足など大企業に比べて圧倒的に不利な条件でも、小回りの良さなど強みを生かし、成果をあげている。

南東京特集

中小製造業、海外に挑戦

生産 急ピッチ
江崎工業はタイの工場で商用車エンジン向け配管を生産

〝日本製〟に追い風
アジアや南米へも展開

「難しい仕事は日本、比較的、数の出るものは海外と適材適所で進めたのが良かった」。須永晋右社長はこれまでの歩みを振り返る。国内のいわき工場（福島県いわき市）では生産効率を向上し、低コスト生産を可能にした。これで海外で受注した仕事の一部を国内でもできるようにした。

品質に信頼

市場の追い風もある。タイやマレーシアに工場を置く日系大手カメラメーカーは当初、海外企業製の安い部品を買っていたが、品質や納期対応に満足いかず、日本製に切り替える動きが出ている。

須永社長は「顧客は価格が少し高くても信頼できるところと付き合う姿勢に変わってきた。日本の工場を残すためにも海外に出なければならない」と指摘する。海外と日本が連携する体制だからこそ追い風をとらえることができた。

広がる未来

アジアだけでなく、南米に進出した中小企業もある。大川精螺工業（東京都品川区）は、メキシコに自動車部品の新工場を建設し、13年秋から稼働させる計画だ。

大川克良社長は「米州には拠点がなく、日本から輸出していた。メキシコでは日系の大手自動車メーカーが相次いで完成車の組立工場を建設しており、ブレーキホース口金具などの現地調達が増える」と進出の背景を語る。

首都メキシコ市から北西約300キロメートルに位置するグアナファト州イラプアト市のカストロ・デル・リオ工業団地に建設する計画だ。

同社は金属素材を室温で圧縮、成形する冷間鍛造技術を得意とし、ブレーキホース口金具で国内市場の過半の販売シェアを誇る。

冷間鍛造は金属を削らないため、廃材がでない。製造コストの抑制にも貢献する。「冷間鍛造の良さをアピールし、将来はハイブリッド車や電気自動車向けの部品も手がけたい」（大川社長）とメキシコを足がかりに新たな展開を見据えている。

オオタテクノパーク
タイを拠点に事業拡大

タイで金型保守サービス
フィーサは新しいビジネスモデルを構築

集合工場

タイの首都バンコクから南東に車で1時間半の距離にあるアマタナコン工業団地（チョンブリ県）。ここに複数の企業が間借りできる集合工場「オオタテクノパーク（OTP）」がある。大田区が現地企業と連携して運営する施設で、同区に本社を置く企業を中心に9社が入居する。

射出成形金型に組み込むノズルなどを製造、販売するフィーサ（東京都大田区）は、OTP入居企業の1社で、2008年に進出した。斎藤進社長は「顧客のタイ進出にともない、販売・サービスの拠点を作る必要があった。また、日本の金型市場が飽和しているため、金型の新しいビジネスモデルを構築したかった」と背景を語る。

その新しいビジネスとは金型の保守サービスだ。同社はプラスチック射出成形金型に組み込むノズルを手がけ、多種多様な金型をみてきた蓄積がある。タイでは金型を作る企業が少なく、顧客から「金型ごと注文したい」という要望があった。そこで、古くなった金型の保守・修理から新規の製作まで請け負うようにした。11年のタイの洪水後には、洪水の被害を受けた金型の修理の注文が急増した。「海外に出たことで新規ビジネスが生まれた。東南アジア諸国連合（ASEAN）の経済成長は続いており、タイを拠点にASEANへ投資したい」と斎藤社長は海外でのさらなる事業拡大に意欲を燃やしている。

現地ワーカーの育成
大和産業は受注拡大で勤務体制も見直す

生産効率向上

パイプ専門メーカーである江崎工業（東京都大田区）は、OTPで06年秋から操業した。現在は工場内のスペースいっぱいに設備が並び、作業者が熱心に働いている。

「操業した当初は設備が隅にあるだけで、ガランとしていましたが、今はにぎやかです」。現地法人を統括する江崎隆広マネージング・ディレクター（MD）は満足げに語る。

同社はトラックなど商用車エンジンの配管を開発、製造する。タイで日系の商用車メーカー向けを中心に実績を積み上げた。タイ洪水で競合の1社が被害にあったため、取引実績のない大手自動車メーカーから初めて声がかかった。江崎MDは「タイに来たからこそ新しい顧客と話ができる。海外進出は正解だった」と強調する。今後は現状の設備と人員で生産効率の向上に取り組む方針だ。

受注増加傾向

自動車用ワイヤハーネス（組み電線）などを製造、販売する大和産業（東京都大田区）は、OTPで08年8月から操業を始めた。ハーネスの組み立ては人の手作業が必須であり、製造ラインに若い女性が並んで作業に励んでいる。タイの自動車生産の拡大にともない、注文は増加傾向が続く。残業をして受注をこなしているが、今後は勤務体制を昼夜の二交代制へと見直す検討に入った。秋葉敏マネージング・ディレクター（MD）は「アジアを中心としたグローバル展開は急ピッチで進んでいる。タイに出ていなければ、こういう仕事を受注できなかった」と実感をこめて語る。

世界から大田へ　大田から未来へ

地域と企業の発展をめざします

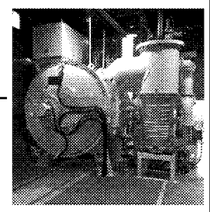
東京商工会議所 大田支部

東京都大田区南蒲田1-20-20　大田区産業プラザ5階
TEL 03-3734-1621　FAX 03-3731-9801　www.tokyo-cci.or.jp/ota

日本工業規格表示認定工場
JIS B 6913
（鉄鋼の焼入焼戻し加工）

Accredited Nadcap

金属熱処理 技術・技能のスペシャリスト集団！
航空機部品の熱処理もお任せ下さい！



航空機部品対応真空炉

創業以来「お客様の製造ラインの一部門たれ」をモットーに、鋼に魂を入れる作業を続けてまいりました。2 名の現代の名工を筆頭に、長年の経験を有する多くの優れた熟練工と技術者を擁し、「難しい熱処理は上島に頼め」と評判の会社です。新規に航空機部品の熱処理を始めました。JIS Q 9100 と Nadcap の認証は取得済みです。
10月9日～14日「2012年国際航空宇宙展」に出展します（於：ポートメッセなごや／中部国際空港セントレア）

■営業品目
1. 金属熱処理加工（塩浴・真空）：焼入焼戻し（高速度工具鋼を主とした工具鋼・マルテンサイト系ステンレス鋼）・固溶化（溶体化）・時効処理（鉄鋼材料、アルミ合金）・サブゼロ処理・クライオ処理　2. 表面改質処理：PVD 処理・ガス軟窒化・ホモ処理・WPC 処理　3. 摩擦圧接加工　4. 精密熱処理テスト

株式会社上島熱処理工業所（かみじま）
〒146-0081　東京都大田区仲池上2-23-13
TEL:03-3753-7788（代）　FAX:03-3751-5684
URL:http://www.kamijima.co.jp　E-mail:info@kamijima.co.jp

独創技術で明日をひらく
www.nitto-kohki.co.jp

日東工器

迅速流体継手「カプラ」　省力化機械工具　リニア駆動ポンプとその応用製品　建築機器（ドアクローザ）

本社・研究所/〒146-8555 東京都大田区仲池上2-9-4 TEL 03(3755)1111(代表)　大阪支店/〒537-0001 大阪市東成区深江北2-10-10 TEL 06(6973)5501(代表)　名古屋支店/〒467-0027 名古屋市瑞穂区田辺通1-3 TEL 052(861)1601(代表)